

-まんでんてらこや-

# 公開講座

参加費  
無料

日時:2019年10月12日(土) 14:00-17:00  
会場:京都大学阿武山観測所  
定員:50名(申込先着順)

## 海の地震の測り方

～高い水圧下にある深海は  
宇宙よりはるかに過酷な環境～

京都大学防災研究所  
片尾 浩 准教授

阿武山観測所では季節ごとの、春(4月)・夏(7月)・秋(10月)・冬(1月)に、一般市民対象『公開講座』を開講します。地震学や防災・減災に限定することなく、多様な分野で活躍の講師を招いて話題を提供してもらい、みなさまの探究心を呼び起こします。

申込み

阿武山観測所ホームページ  
<http://abuyama.com>  
先着順 (定員に達した時点で受付終了)



主催: 京都大学防災研究所 阿武山観測所  
阿武山地震観測所・サイエンスミュージアムプロジェクト  
後援: 高槻市、茨木市

# program

## 海の地震の測り方



京都大学防災研究所 片尾 浩 准教授  
昭和33年 東京都生まれ  
東京大学大学院理学研究科 第1種博士課程修了  
理学博士 専門は地震学

日本は『地震国』と呼ばれますが、東日本大震災や南海トラフ地震等の例を挙げるまでもなく、主要な地震現象の多くは海域で発生します。

『海の地震』を詳しく調べるためには、できるだけ対象に近づいて、すなわち海底で観測することが必要になります。しかし、光も電波も通さず高い水圧下にある深海は、宇宙よりはるかに過酷な環境であり、海底観測には様々な困難が立ちまわります。

本講演では、『海底地震計』の開発にチャレンジしてきた研究者たちの技術的な創意工夫、それらを用いた観測の様子とその成果について紹介したいと思います。



阿武山観測所のサポーター制度について  
観測所では、サイエンスミュージアムプロジェクトを皆様方と一緒に推進し活動する「阿武山サポーター」（ボランティア）を募集しています。ご関心のある方はお気軽にスタッフまでお問合せください。

所在地: 〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原944  
京都大学防災研究所 阿武山観測所